



池田 幸恵 議員

鳥獣害の対策は

町長

農作物被害軽減や ジビエ振興をはかる

【池田】 過去5年間の駆除頭数と農業被害額の推移は。

【町長】 ノートリアとカラスは減少傾向、イノシシとシカについては増加傾向である。

【池田】 猟師の高齢化が進むなか、若手猟師の育成は。

【町長】 県の若手猟師参入促進補助金制度を案内している。また、50歳未満の補助対象年齢を60歳代までにするように県に要望している。猟友会と連携し、免許取得3年以内の猟師を対象に、捕獲技術講習会を実施し活動支援を継続する。

【池田】 ジビエ活用とジビエ振興会との連携は。

【町長】 昨年、農産物被害の軽減と地域資源の有効活用を目的に獣肉解体処理施設を整備した。

猟友会とジビエ振興会が連携することで、農産物被害の軽減やジビエ振興をはかりたい。



大雨のたびに床下浸水が起こる

防災対策は

町長

育成と

意識啓発をする

【池田】 防災監はどのような業務内容か。

【町長】 災害対策本部設置時は専門的知識・経験から助言をする。平常時には自主防災

担当職員への助言、防災計画の更新、自主防災組織の育成を行う。

【池田】 近年発生している災害を今後の防災対策にどうつなげるか。

【町長】 来年度整備予定の防災ガイドマップに台風24号での被害箇所なども情報掲載し、町民に理解と日ごろの備えをしていただく。

冬季の大山観光の発展は

町長

駐車場活用の 自由度を高めたい

【池田】 今シーズン冬季駐車場利用料が倍額となった。ふるさと納税返礼品として回数券やシーズン券を取り入れてはどうか。

【町長】 検討してみたい。

【池田】 オートゲートや融雪設備の導入など、グリーンシーズン活用事業と連携し通年の有料化はどうか。

【町長】 基本的には県の駐車場だが、大山町の観光地の駐車場でもある。どのような仕組みが有効か今後も考えたい。



値上げされた大山駐車場